

F - エリオット分析

R S I 分析の V 理論 (2004 年 4 月 14 日)

株式会社エフ・エリオット テクニカル・ストラテジスト 藤原 尚之
ホーム・ページ <http://www.f-elliott.com>

このレポートで提供している情報は信頼できると考える筋から得たものですが、当社及び筆者は掲載された情報の完全性あるいは正確性を保証するものではありません。また、見解や見通しは記載時点での判断であり、予告なしに変更されることがあります。このレポートはいかなる金融商品についても、その売買に関する申し込みあるいは勧誘を意図したものではありません。このレポートの受領にあたり、掲載されている有価証券または金融取引に関する判断は投資家ご自身でなさるようお願い致します。当社及び筆者はこのレポートで推奨した有価証券あるいは金融取引について自己勘定取引をこれまでに行なった、あるいは今後行なう場合があります。

このレポートを当社及び著者または配信会社の許可なく使用、またはメールで転送することを禁じます。これに違反した場合は訴訟の対象となることがありますのでご留意願います。

筆者は、基本的にファンダメンタルズ(景気の上下、収益の上下、金利の上下など)の動向や需給の動向を分析し、これにエリオット理論のテクニカル分析を加えて3ヶ月から6ヵ月後の株価の見通しを立てている。しかし、短期的な売買タイミングを計るのにはRSIを活用することが有効である。

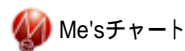
RSIのテクニカル分析では、基本は70以上が「売りシグナル」、30以下が「買いシグナル」とされている。

筆者は、このRSIを活用した取引方法について株式先物取引やオプション取引のセールス・トレーダーをしていたころに研究し、「V理論」なるものを唱えた。今回はこのV理論について解説する。

1. RSI理論では70以上で売り、30以下で買いが基本であるが、多くの場合、70以上が続いたり、30以下が続いたりする場合がある。これはRSIがモメンタム系のオシレーターであるため、トレンドが発生した場合にはまったく役に立たなくなるためである。

- 2 . これを補うためには、筆者が使っているように、より長期のRSIを分析する必要がある。12ヶ月ベースのRSIや12週ベースのRSIは、長期・中期の相場の「過熱感」を知るのに役に立つ指標である。
- 3 . さて、今回の「V理論」とは、株式先物取引やオプション取引などの期間の短い取引において有効な分析方法である。
- 4 . これは相場のトレンドを示す分析方法ではない。あくまで短期的な「買いシグナル」や「売りシグナル」として使用可能な方法で、利益の確定も短期に行うことが肝要である。
- 5 . 最初のチャートは過去2年間の日経平均を見たものである。この14日のRSIのチャートに書き入れたVや逆Vが「RSIのV理論」の部分である。
- 6 . RSIでは、70以上が売り30以下が買いであるが、一旦70以上や30以下になったRSIが再度30~70の帯の中に戻り、再び70以上や30以上になった時が「V理論」の買いシグナル、売りシグナルとなる。
- 7 . 日経平均のチャートで線が入れているのが「売買シグナル」が出てからの上昇幅や下落幅である。昨年4月のボトムの時もきれいに逆Vの「買いシグナル」が出ていることがお分かりいただけると思う。そして、現在はVの「売りシグナル」が出ている。
- 8 . 次のチャートは三菱東京FGの過去2年間のRSIとVシグナルである。ここでも昨年4月の安値で逆Vが出ており、今回の110万円の高値でVの「売りシグナル」が出ている。
- 9 . 最後のチャートはソニーの過去2年間のRSIとVシグナルである。ここでも昨年4月の安値で逆Vが出ており、現在はもう一度下がれば逆Vの「買いシグナル」が出ることが伺える。
- 10 . このVシグナルは、まれにWシグナルになることがある。つまり、一旦70以上になってから30~70の帯に戻り、再度70以上になってまた帯に戻り、もう一度(3回目の)70以上を示すことがある。
- 11 . しかし、この場合でも、3回目は2回目よりもさらに確率の高い売買シグナルになることが多い。つまり、2回目のシグナルよりも信頼性のさらに高いシグナルというわけである。
- 12 . 今回ご紹介したV理論はあくまで短期の売買シグナルであることを認識した上でご活用いただきたい。

(以下のチャートはMeネット証券のMe's戦略ツールを使用しています。)



印刷

検索を実行

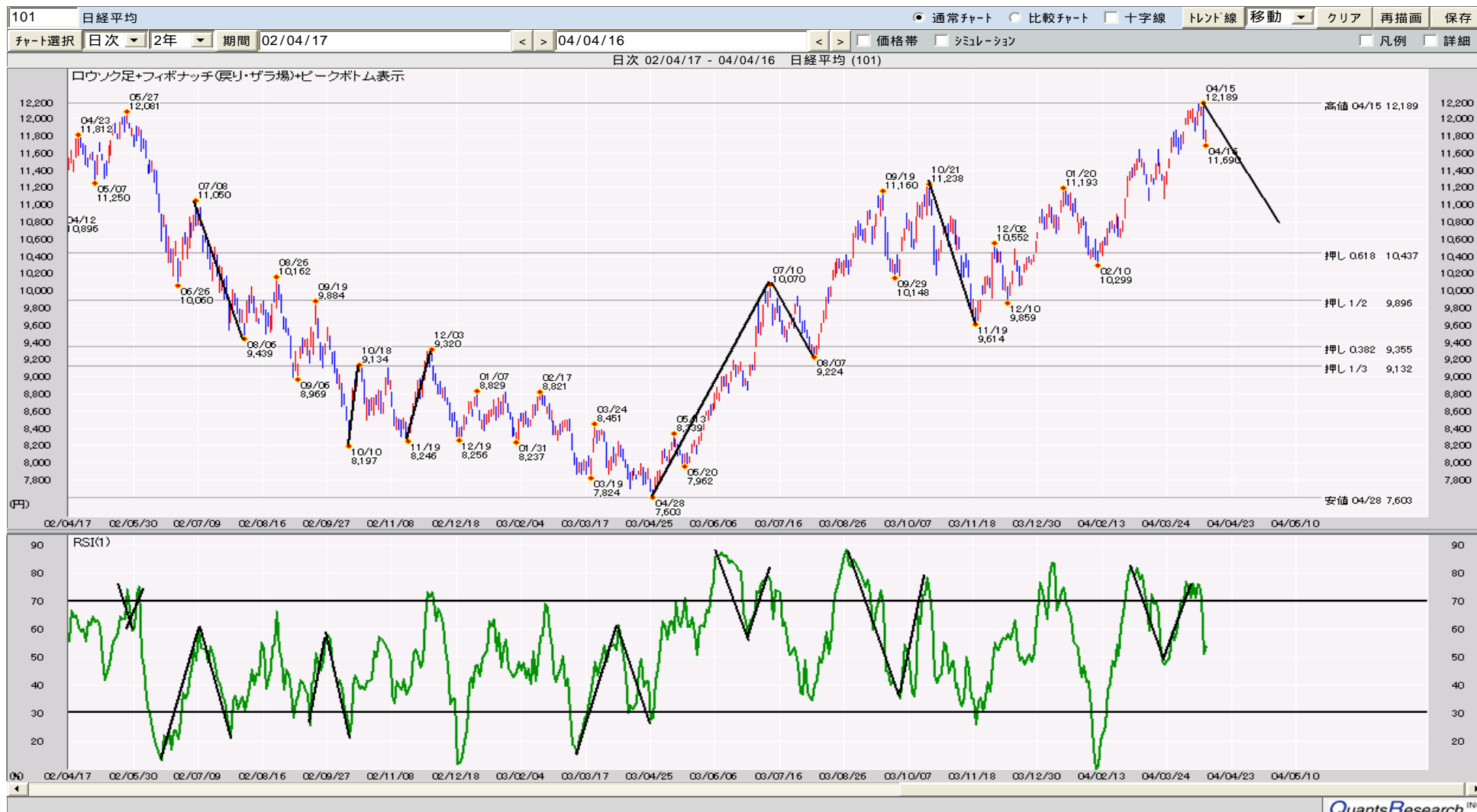
○コードor銘柄名

●指数 日経平均

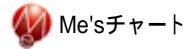
分析情報

使い方
説明

画面が表示されない
お客様へ



当サイトの著作権はMeネット証券に属し、許可なく第三者への再利用及び再配信等を行うことを固く禁じます。サイト内の情報に関しては万全を期してはいますが内容を保証するものではありません。万一この情報に基づき被った損害についてMeネット証券及び当サイトへの情報提供者は一切の責任を負いません。当サイトに掲載されている事項は、Meネット証券及びその関係会社のご案内のほか、株式・投資信託等投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。最終的な投資の意思決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願いいたします。なお、予告なしに内容が変更または廃止される場合がありますが、あらかじめご了承ください。



印刷

検索を実行

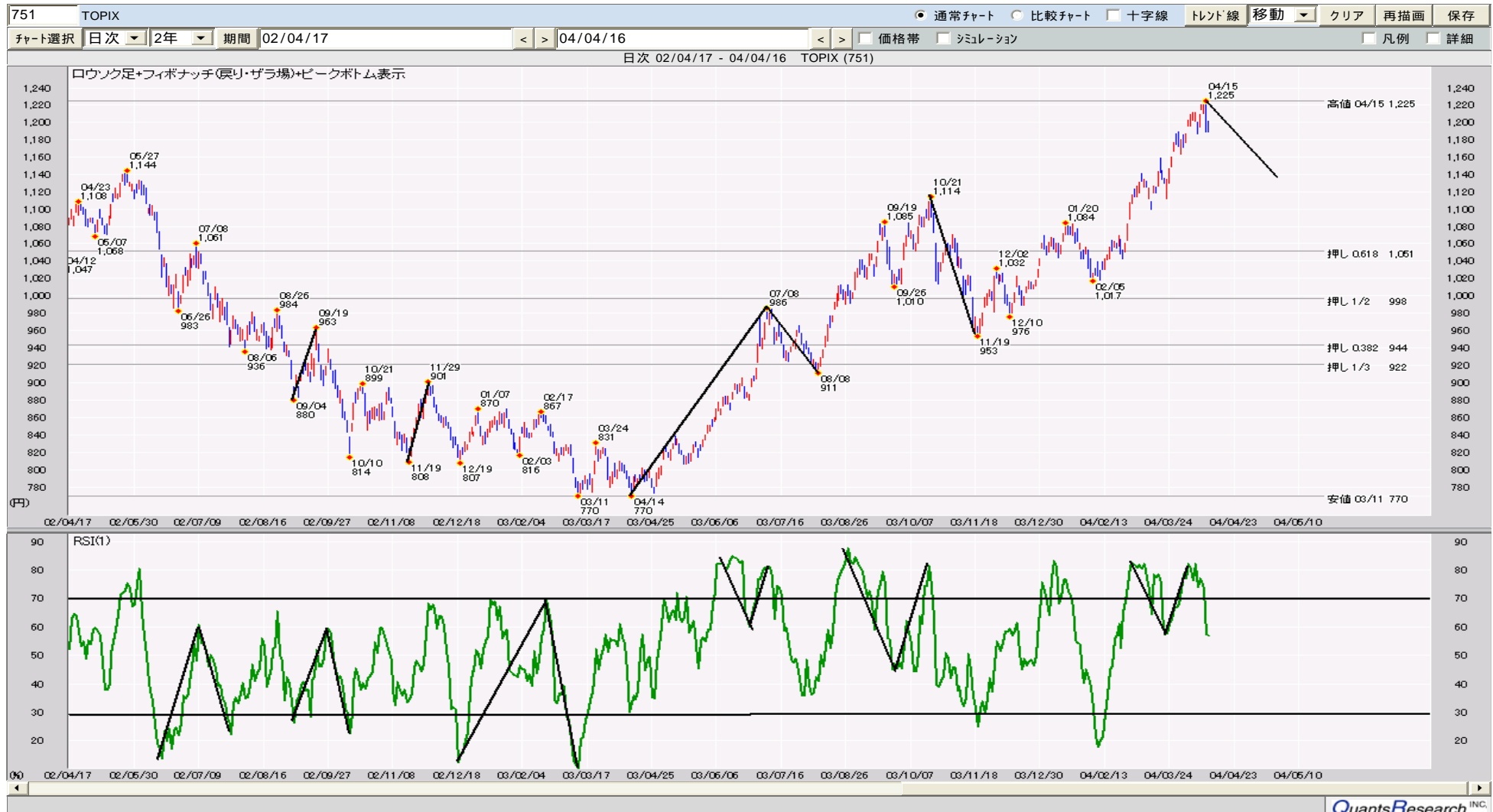
コードor銘柄名

指数 TOPIX

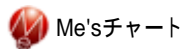
分析情報

使い方
説明

画面が表示されない
お客様へ



当サイトの著作権はMeネット証券に属し、許可なく第三者への再利用及び再配信等を行うことを固く禁じます。サイト内の情報に関しては万全を期してはいますが内容を保証するものではありません。万一この情報に基づき被った損害についてMeネット証券及び当サイトへの情報提供者は一切の責任を負いません。当サイトに掲載されている事項は、Meネット証券及びその関係会社のご案内のほか、株式・投資信託等投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。最終的な投資の意思決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願いいたします。なお、予告なしに内容が変更または廃止される場合がありますが、あらかじめご了承ください。

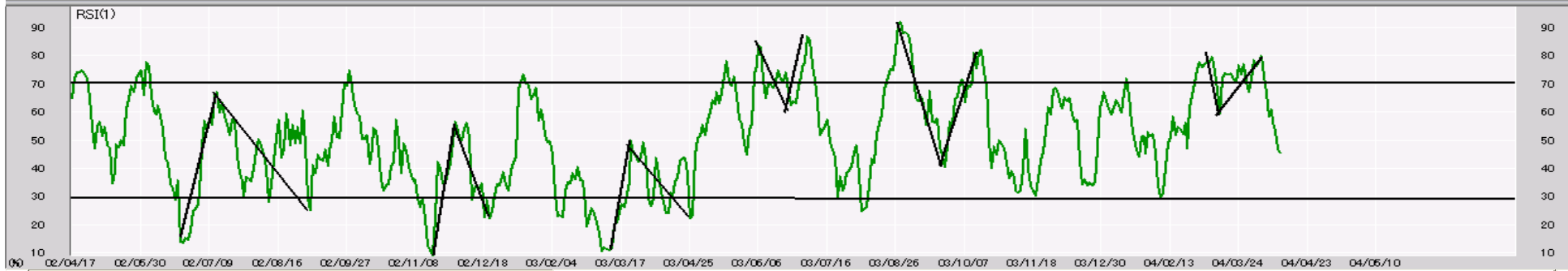
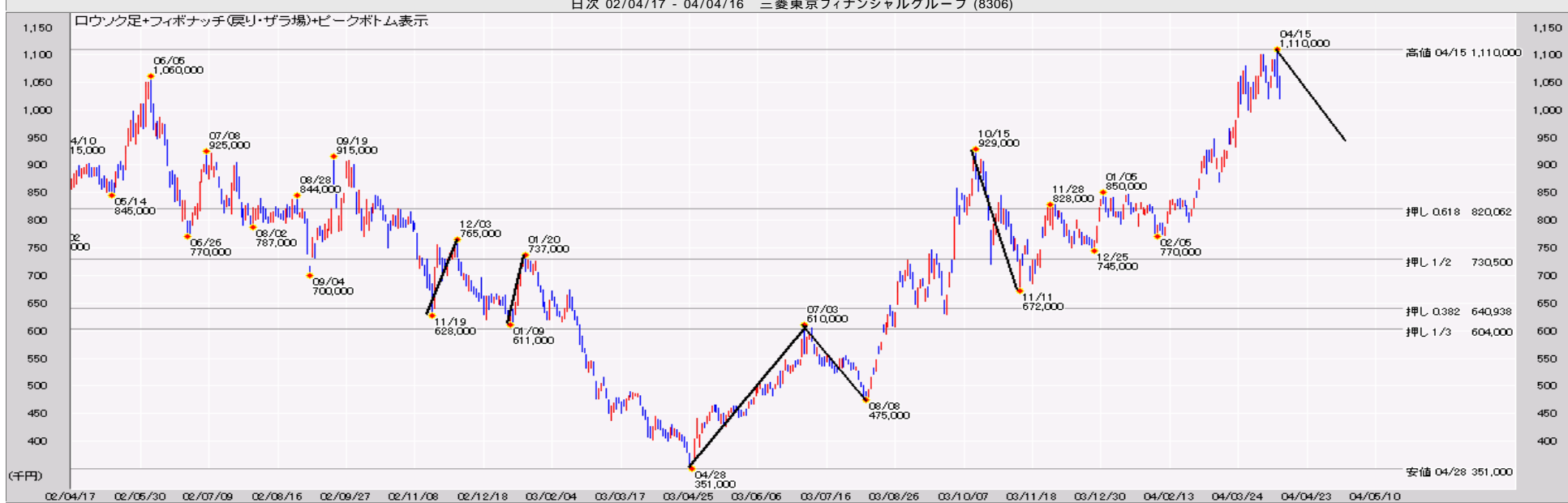


印刷

検索を実行 コードor銘柄名 8306 指数 日経平均

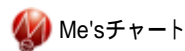
分析情報 [使い方説明](#) [画面が表示されないお客様へ](#)

8306 三菱東京フィナンシャルグループ 通常チャート 比較チャート 十字線 トレンド線 移動 クリア 再描画 保存
チャート選択 日次 2年 期間 02/04/17 04/04/16 価格帯 シミュレーション 凡例 詳細



QuantsResearch INC.

当サイトの著作権はMeネット証券に属し、許可なく第三者への再利用及び再配信等を行うことを固く禁じます。サイト内の情報に関しては万全を期してはいますが内容を保証するものではありません。万一この情報に基づき被った損害についてMeネット証券及び当サイトへの情報提供者は一切の責任を負いません。当サイトに掲載されている事項は、Meネット証券及びその関係会社のご案内のほか、株式・投資信託等投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。最終的な投資の意思決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願いいたします。なお、予告なしに内容が変更または廃止される場合がありますが、あらかじめご了承ください。



印刷

検索を実行

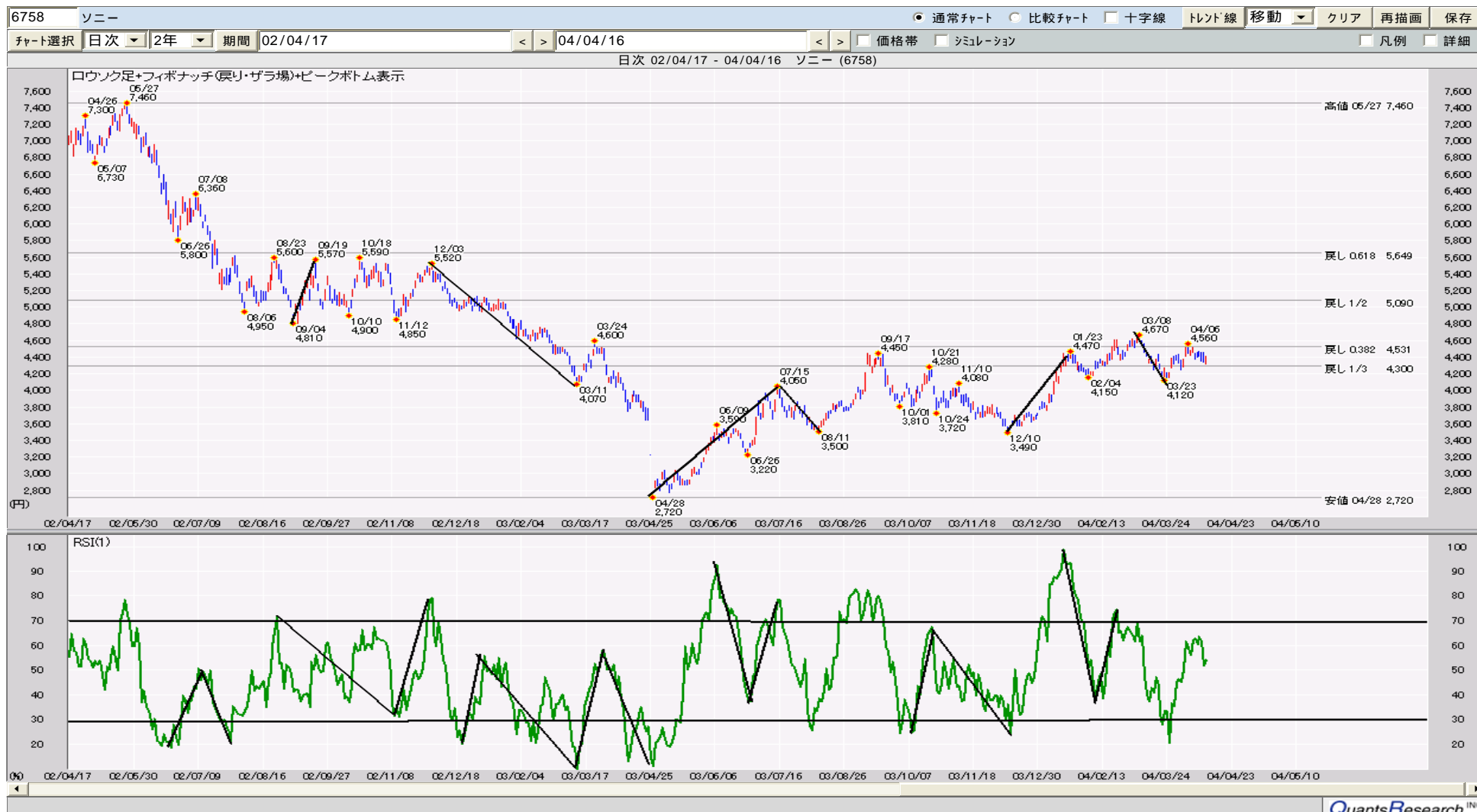
コードor銘柄名 6758

指数 日経平均

分析情報

使い方
説明

画面が表示されない
お客様へ



当サイトの著作権はMeネット証券に属し、許可なく第三者への再利用及び再配信等を行うことを固く禁じます。サイト内の情報に関しては万全を期してはいますが内容を保証するものではありません。万一この情報に基づき被った損害についてMeネット証券及び当サイトへの情報提供者は一切の責任を負いません。当サイトに掲載されている事項は、Meネット証券及びその関係会社のご案内のほか、株式・投資信託等投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。最終的な投資の意思決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願いいたします。なお、予告なしに内容が変更または廃止される場合がありますが、あらかじめご了承ください。